

2021年5月7日

四日市大学学生の皆さんへ

学長 岩崎 恭典

## クラスターの発生と終息について

5月1日、三重県は本学でクラスターが発生したことを公表しました。

このクラスターは同じクラブに所属する学生6名が新型コロナウイルス感染症の陽性者となったものです。5月6日現在、いずれの学生も症状は収まっており、したがって入院もしていません。また、幸いなことに、さらなる感染の拡大も確認されませんでした。

しかし、今回の件は、新型コロナウイルス感染症の新たな広がりの中で発生したもので、市中に感染が広がっているという背景があるとはいえ、新型コロナウイルス感染症に対する気の緩みの結果といえる部分もあります。

そこで、すべての学生の皆さんに改めて注意を促したいと思います。

### 1. 体調の変化は見逃さない。

感染初期の症状を見逃さず、我慢をせずに、すぐに医療機関、あるいは受診・相談センターに連絡してください。明らかに身体の調子が悪そうなのに、トレーニングを続けるなど、発熱や咳、鼻水などの症状があった場合は、我慢は禁物です。

### 2. 感染しない、感染させない。

感染していても症状が出ないなど、若者の症状の特徴を踏まえて、まずは感染しない、次に感染させないことを常に意識してください。変異型ウイルスでは、若者でも重症化するなどウイルスの特徴が変化しています。感染しない、感染させないは私たち一人ひとりの努めです。

### 3. 明けない夜はない、今は我慢の時です。

学生の皆さんには、すでに1年以上、変則的な学生生活が続いており、苦しい思いをされていると思います。新型コロナウイルスとの戦いは、まだまだ続きます。マスクをはずしての会話、自動車内など狭いところでの会話、飲酒を伴う会話、また人が大勢集まる場所への外出など、気の緩みが感染リスクを高めています。今は我慢の時です。

広範な年齢層、立場の人へのワクチン接種は、もうしばらく時間がかかりそうです。

四日市大学は皆さんと共に、出来る限りの対策を図りながら前に進む努力をしたいと思います。共にがんばりましょう。